

2024年8月8日

各 位

会 社 名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング
 代表者名 代表取締役社長 塚田 正之
 (コード：2418 東証スタンダード)
 問合せ先 財務経理部長 山崎 誠広
 (TEL：03-5464-0081)
 (URL <https://www.tsukada-global.holdings>)

2024年12月期 中間期及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年5月10日に公表しました2024年12月期(2024年1月1日～2024年12月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期中間期の連結業績予想数値の修正(2024年1月1日～2024年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	28,287	1,810	2,283	1,461	30円64銭
今回修正予想(B)	28,549	2,330	3,292	3,037	63円68銭
増減額(B)－(A)	262	520	1,009	1,576	
増減率(%)	0.9	28.8	44.2	107.9	
(ご参考)前期中間期実績 (2023年12月期中間期実績)	26,842	1,418	2,165	2,036	42円70銭

2. 2024年12月期通期の連結業績予想数値の修正(2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	63,217	6,421	6,202	4,327	90円72銭
今回修正予想(B)	63,380	6,847	6,316	5,024	105円33銭
増減額(B)－(A)	162	425	114	696	
増減率(%)	0.3	6.6	1.8	16.1	
(ご参考)前期実績 (2023年12月期実績)	57,474	5,341	5,742	4,730	99円16銭

3. 修正理由

当中間期の売上高は概ね前回予想通りとなりましたが、婚礼事業及びホテル事業における婚礼コンテンツの内製化を推進したことなど、全社を挙げたコストダウン施策の効果により営業利益は増加する見込みであります。また、営業外収益において急激な為替相場の変動に伴う為替差益 1,225 百万円の計上となったことにより経常利益が増加し、特別利益において BT KALAKAUA, LLC（米国デラウェア州法人）の出資持分の一部を譲り受け、連結子会社となったことに起因する段階取得に係る差益 1,058 百万円の計上があったことにより親会社株主に帰属する中間純利益が増加する見込みであります。

通期連結業績予想につきましては、当中間期の変動を反映したことにより、売上高、利益面ともに前回予想を上回る見込みであります。

(注) 上記業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上